

2023年度

二チイ弓庄保育所 自己評価総括表

地域社会における保育施設として、その運営や保育内容について、自らの保育実践を振り返り、自己評価を行いましたので、その結果を以下の通り公表いたします。

また、本自己評価の結果を踏まえ、今後も更なる専門性の向上や保育実践の改善に努め、より一層質の高い保育の実践を目指してまいります。

評価方法		
保育士等（全職員）の自己評価	評価期間	2024年1月9日（火）～1月31日（水）
	実施方法	全職員に自己評価について趣旨を説明し自己評価を実施した。
保育施設の評価	評価日	2024年2月29日（木）
	実施方法	話し合いにより職場全体で共有し、保育施設の課題を明確化し、改善策を検討した。

項目ごとの評価	
保育理念	「おもいっきり遊ぶ おもいっきり学ぶ」を保育理念に掲げ、各年齢・個別の保育の計画を立て、様々な活動を行いながら、子どもに寄り添い、安心安全な保育所運営に努めた。
子どもの発達援助	縦割り保育でのクラス配置を工夫し、年齢発達、興味に合わせた保育環境設定・遊びの提供に配慮した。一人一人の発達段階に合わせた関わりを心がけ保育を行った。
保護者に対する支援	コロナ禍を脱し、昨年度より保育を見ていただく機会が増え、これまでよりも保護者に子どもの成長する姿を共有し合え信頼関係を築くことができた。さらに玄関対応等で保育を伝えて保護者支援に努めていきたい。
保育を支える組織的基盤	外部研修や内部研修で一人一人に合った関わりやSTEAM教育を学ぶ機会を持つことができ、職員間で共有した。さらに深く話し合い、日々の保育につながるようにしていく必要がある。

総評
<ul style="list-style-type: none">・保護者に保育を見ていただける機会は昨年度より増え、また、個別懇談会等を通して保護者支援を行うことができた。今後の課題としては、職員間の報連相を徹底し、伝達や共有を十分に図ることであり、より個別の保護者支援を行っていきたい。・保育理念を元に保育計画を立て実践してきた。今後も、より子どもの発達に合った保育計画になっているのかを話し合い保育環境を整えていきたい。・外部講師の巡回指導を受けるなど、子ども一人一人を理解し内面を大切にされた保育に努めた。次年度もミーティングや園内研修の機会を多く持ち、個別と全体両面の子どもの関わりに対しての保育を考えていきたい。